

# 介護

## の現場から

### その51



平成20年4月から紹介してきまして社会福祉法人「幸会」の「介護の現場から」も今回で最後となります。社会福祉法人「幸会」として今、取り組んでいることや各従業員の奮闘している毎日の姿、意気込みなど、さまざまな角度から盛りだくさんの内容を掲載させていただきました。

記事の執筆者を含め、一幸会には現在、100余人の従業員が勤務しています。そのほとんどが介護業務に従事し、介護

福祉士、訪問介護員2級、社会福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーターなどの介護の資格はもちろんです。歯科衛生士、保育士、教員免許、電気工事士、配管技師、ボイラー技師、大型特殊自動車免許、フォックアセラピスト、バランスセラピスト、レクリエーションインストラクター、調理師、栄養士...などさまざまな資格を持ちながら介護業務に携わっています。

## 人を育て、人が育つ研修を

社会福祉法人一幸会 会長 伊藤 治  
事務局

### 「変化、チェンジ」合言葉に

従業員は、介護の専門の資格がなくとも、仕事に対する考え方や自分の介護に対するしっかりとした信念を持っている方を採用しています。

介護は介護業務だけでなく、介護がサービス業であることから、利用者（お客さま）からどれだけ満足していただけたかが重視されます。介護を提供する従業員は、利用者個々と接することが業務の大部分です。従業員が自らの人間性を発揮しながら



を選、参考にすることもできます。

サービスの良い点悪い点が明確に提示され、施設としてはリスクもありません。一方で、利用者の信頼を獲得し向上が図られることや、これからの改善点の明確化が促進されるなどのメリットもありました。

最後に、福祉施設の経営方針として、さまざまなことにチャレンジすることを心掛けていますが、毎年1人1つ以上について、昨年と違ったことをやってみようという「変化、チェンジ」を進めることを合言葉に、変化する福祉施設や新しいサービスの時代に遅れないように、従業員一人一人が自分の力を十分に発揮できるように意識改革の手立てとなる研修を充実していきます。

地域の皆さまにこの一幸会の事業所を気軽に利用できるような風通し

のよい事業所としての運営を心掛けていきたいと思っておりますので叱咤激励をよろしく願います。

ら介護サービスを提供し、ご利用者に安心感や信頼感を与えられるような介護が大事であると考え、これに向かって努力する人を採用しています。

次に、人材の育成にも意欲的に取り組んでおり、事業所ごとに行われる技術的な研修のほかに、今年度からは勤続3年未満の従業員を対象とした「社会福祉基礎研修」、勤続5年以上・指導的従業員には「中級研修」、管理職には「役職研修」とした専門研修を開催しています。講師はすべて

管理職の従業員で行っています。一方、19年目を迎える新たな介護サービスの提供と、当法人の介護サービスが適切に提供されること、水準はどうかを判断すること、客マナーを学んだり、外部から派遣して接する従業員を派遣して接すること、平成20年3月に山形県の福祉サービス第三者評価を受けました。これは公正・中立な第三者機関（東北公益文科大学）が実施した一幸会独自のものです。評価する管理者側と従業員との関係、評価結果を公表する機会、問題点を把握し、サービスの質の向上に結びつけることが期待できます。このコーナーは第2、第4水曜日付に掲載予定です。